

## 1. 地域連携の好事例

### ① さんだ里山スマートシティ構想への参画

本学神戸三田キャンパスの所在する兵庫県三田市が、大学・企業等と連携して取り組む官民共創のプラットフォームに、本学は運営委員として参画している。その中には様々な取り組みがあるが、環境・エネルギー分野において、ゼロカーボンシティや里山保全などを目指した調査・研究・実証等を実施するための分野別部会設置が検討されている。

### ② 里山環境保全に資するエコ・ボランティアの組織化から実践スキームの創出に至る「神戸モデル」の構築

豊かな自然環境を活かした循環型社会への取り組みとして、神戸市と連携し、ブルーカーボン事業を推進している。本学側では、学生主体の団体（学生エコ・ボランティア）を組織し、専門家と協働しながら、広報活動や市民向けの啓発活動を担っている。その他にも、棚田の再生プロジェクトや、大学・高校向けの一般教養科目の開発にも取り組んでいる。

## 2. 地域連携における課題

CN推進における本学と地域との連携は、現在、共同で構想を進めている段階にある。現段階においては、CN推進のための多数の方策案が、詳細度に斑のあるまま検討されており、方策の選定に時間を要している。

CN推進においては、さしあたり、双方の現状の人員体制で対応の可能・不可能な分野を峻別し、前者を推進する途上で、段階的に方策を拡大化していくことが現実的な手順と考えている。

## 3. その他特徴的な取り組み

### 「ペットボトル削減エコシステム」

本学の学生グループ「CAMP×US」が、学内のペットボトル消費量の削減を目指し、本学と連携協定を結んでいる株式会社スノーピーク（代表取締役社長：山井梨沙、本社：新潟県三条市）とオリジナルマイボトルを共同開発した。学内に開設された「BiZCAFE」（国内外の大学近辺で、キャリア形成を支援する「知るカフェ」を展開する株式会社エンリッジョン [代表取締役：柿本優祐、本社：京都市上京区] が運営）へマイボトルを持参すると、コーヒーや紅茶等の飲料を無料で飲むことができる。これにより、キャンパス内のペットボトルを年間10万本削減するサステナブルキャンパスへの取り組み、「KSC 100,000 Plastic bottles Reduction」もスタートした。



4. 地域ゼロカーボンワーキンググループに期待すること、幹事機関・事務局へのリクエスト  
本学が活動を行う上で参考となるような、他大学様の取り組みを共有いただけましたら幸いです。本学からも、現在抱えている課題などを共有させていただければ幸いです。
5. 地域ゼロカーボンワーキンググループへの意気込み・積極的な一言  
先進的な取り組みを推進なさっている他大学様を参考にさせていただき、本学ならびに地域のCN実現に向けて尽力いたして参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。